

問1 1925年に始まったラジオ放送は、日本の歴史の何時代に始まりましたか。

1. 明治時代 2. 昭和時代 3. 大正時代 4. 江戸時代

問2 日本が降伏（こうふく）するときを受け入れた、戦争を終わらせるための宣言は何ですか。

1. サンフランシスコ平和条約 2. 国際連盟共同宣言 3. ポツダム宣言 4. 日中共同声明

問3 1874年に国会開設の要望書を政府に提出して自由民権運動のきっかけをつくり、のちに自由党を結成した人物はだれですか。

1. 大久保利通 2. 伊藤博文 3. 板垣退助 4. 西郷隆盛

問4 大隈重信が、立憲改進黨という政党を結成したのは、どのようなことにそなえるためですか。

1. 国会を開設すること 2. 都を東京に移すこと 3. 外国と戦争をすること 4. 新しい憲法を作ること

問5 群馬県に建てられた富岡製糸場は、どのような特徴を持つ工場ですか。

1. 外国へ日本の古い技術を伝えるために建てられた民間の工場 2. 外国から進んだ機械や技術を取り入れて建てられた官営工場 3. 日本に昔からあった道具だけを使って建てられた民間の工場 4. 外国の資金と技術だけで建てられた外国政府の工場

問6 1904年に、朝鮮半島での勢力などをめぐって日本とロシアの間でおこった戦争は何ですか。

1. 第一次世界大戦 2. 日清戦争 3. 太平洋戦争 4. 日露戦争

問7 1871年に、明治政府がそれまでの藩をなくして新しく府県を置き、政府が選んだ役人に治めさせるようにした改革を何とといいますか。

1. 文明開化 2. 版籍奉還 3. 廃藩置県 4. 地租改正

問8 日米安全保障条約は、日本がどの条約と同時に結んだものですか。

1. ポツダム宣言 2. 日ソ共同宣言 3. サンフランシスコ平和条約 4. 日中平和友好条約

問9 1937年にペキン郊外で日本軍と中国軍が衝突し、長い戦争が始まりました。この戦争のことを何とといいますか。

1. 日清戦争 2. 日中戦争 3. 日露戦争 4. 太平洋戦争

問10 明治政府が「四民平等」を進めたことによって、平民の人々ができるようになったことは何ですか。

1. 職業や住む場所を自由に選ぶこと 2. 外国から新しい機械を買い取ること 3. 自分の土地をすべて政府に返すこと 4. 藩の代わりに県を新しく作ること

問11 明治政府が鹿鳴館を建てて、そこで舞踏会などを開いたのはどのような目的のためですか。

1. 陸軍や海軍の新しい兵器を外国から買い入れるため 2. 外国から輸入した新しい機械を組み立てて動かすため 3. 日本の伝統的な文化を外国の人に体験してもらうため 4. 日本の近代化が進んでいることを外国に伝えるため

問12 明治新政府が「殖産興業」の政策を進める中で、近代産業を発達させるために積極的に取り入れたものは何ですか。

1. 外国の兵隊や武器 2. 外国の土地や建物 3. 外国の機械や技術 4. 外国の法律や宗教

問13 外務大臣の小村寿太郎が1911年に成し遂げた条約改正によって、日本が完全に取りもどすことができた権利は何ですか。

1. 領事裁判権 2. 裁判権 3. 関税自主権 4. 警察権

問14 明治政府が進めた、産業を発達させて国力をつけ、強い軍隊をつくらうとする政策を何とといいますか。

1. 富国強兵 2. 文明開化 3. 版籍奉還 4. 地租改正

問15 日本が「満州事変」を起こして満州を占領した目的として、正しいものはどれですか。

1. 現地の政治の実権を握るため 2. 新しい文化を伝えるため 3. 中国と仲直りするため 4. 満州に学校を建てるため

問16 福沢諭吉が書いた『学問のすゝめ』は、どのような考えを説いて多くの人々に読まれましたか。

1. 天皇を中心とする政治の考え 2. 農業をさかんにするための考え 3. 外国と戦争をするための考え 4. 人間の平等などの考え

問17 明治時代に、国民の政治参加を求めて「自由党」をつくった人物はだれですか。

1. 板垣退助 2. 伊藤博文 3. 福澤諭吉 4. 大隈重信

問18 1871年に廃藩置県が行われたあと、新しく置かれた府県はだれが治めることになりましたか。

1. それまで藩を治めていた大名 2. その土地に住む一般の農民 3. 政府が任命した役人 4. 外国から招かれた専門家

問19 自由民権運動の時代に、政党がつくられた主な目的として最も適切なものはどれですか。

1. 士族の特権を復活させるため 2. 国会を開いて国民が政治に参加できるようにするため 3. 外国との貿易を活発にするため 4. 新しい年号を決定するため

答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 3 大正時代	ラジオ放送は、1925年の大正時代に始まりました。
問2	答え 3 ポツダム宣言	日本が降伏するときに受け入れた宣言で、これを受け入れたことで戦争が終わりました。
問3	答え 3 板垣退助	板垣退助は、国民が政治に参加できる国会をつくるよう求める要望書を提出し、のちに自由党を結成した人物です。
問4	答え 1 国会を開設すること	大隈重信は、国会が開設されることにそなえて立憲改進黨を結成しました。
問5	答え 2 外国から進んだ機械や技術を取り入れて建てられた官営工場	富岡製糸場は、外国から進んだ機械や技術を取り入れて建てられた、国が経営する官営工場です。
問6	答え 4 日露戦争	1904年に朝鮮半島をめぐる争いから日本とロシアの間で始まった戦争は、日露戦争です。
問7	答え 3 廃藩置県	1871年に行われた、藩を廃止して府県を置き、政府が任命した役人が治めるようにした改革を廃藩置県といいます。
問8	答え 3 サンフランシスコ平和条約	日米安全保障条約は、日本が独立を回復したサンフランシスコ平和条約と同時に結ばれました。
問9	答え 2 日中戦争	1937年、ペキン郊外の「ろこうきょう」という場所で日本軍と中国軍が衝突したことをきっかけに始まった戦争です。この出来事は、その後の日本と中国との長く苦しい戦争のはじまりとなりました。
問10	答え 1 職業や住む場所を自由に選ぶこと	四民平等によって、それまで制限されていた職業や住む場所を、だれでも自由に選べるようになりました。
問11	答え 4 日本の近代化が進んでいることを外国に伝えるため	明治政府は、日本の近代化が進んでいることを外国にアピールするために、鹿鳴館で舞踏会などを開きました。
問12	答え 3 外国の機械や技術	殖産興業では、外国の優れた機械や技術を積極的に取り入れることで、日本の近代産業を発達させようとしていました。
問13	答え 3 関税自主権	小村寿太郎は、外国から輸入する品物にかかる税金を日本が自主的に決める権利である「関税自主権」を回復させました。
問14	答え 1 富国強兵	産業を発達させて国力を高め、強い軍隊をつくらうとする明治政府の政策を「富国強兵」といいます。
問15	答え 1 現地の政治の実権を握るため	満州事変の後、日本は満州の地を支配し、「満州国」という新しい国を設立することで、その土地の政治や軍事の主導権を握ろうとしました。これは、日本が海外へ勢力を広げていこうとした動きの一環でした。
問16	答え 4 人間の平等などの考え	福沢諭吉は『西洋事情』の中で、人間の平等などの考えを分かりやすく説き、多くの人々に影響を与えました。
問17	答え 1 板垣退助	板垣退助は、自由民権運動をリードし、政治のあり方を変えるために日本で最初の本格的な政党である自由党を結成しました。大隈重信は後に立憲改進黨を結成し、伊藤博文は日本で最初の内閣総理大臣として知られています。
問18	答え 3 政府が任命した役人	廃藩置県によって各地の藩は廃止され、政府が新しく任命した役人が府県を治めることになりました。
問19	答え 2 国会を開いて国民が政治に参加できるようにするため	当時の人々は、政府が勝手に政治を行うのではなく、国会を開いて国民の声を政治に反映させる「立憲政治」を求めました。自由党や立憲改進黨といった政党は、その目的を実現するために結成され、国民の政治への関心を高める大きな役割を果たしました。